

(3) 平成23年度地区別研修会報告 ー西播磨地区ー

1. 目的

西播磨地区の各校における教科「情報」担当者間の交流を深め、情報交換を行う。

2. 日時

平成23年8月23日(火)
13:30～16:30

3. 場所

兵庫県立姫路東高等学校

4. 参加人数

18名



5. 実施報告

今回の地区別研修会では、普通科高校における情報科教育という視点で授業紹介や情報教育関係の設備見学、参加者による考査問題を持ち寄っての研究協議が行われた。

会場校の県立姫路東高等学校では、平成21年度のスクールニューディール構想に係る学校ICT環境整備事業で導入された50インチプラズマテレビを、各ホームルーム教室に(天井吊り下げ型で)設置しており、情報科に限らず、各教科の授業において活用している。そこで、会場校の先生にお願いをして、ICTを活用した授業実践を模擬授業の形で拝見させていただいた。実際の活用事例を見ることで、自校におけるICT活用のイメージを膨らませることが出来たのは大きな収穫であった。

(1) 研修会の流れ

13:30 開会

13:50 教科「情報」授業紹介

姫路市立琴丘高等学校 教諭 北村 忠利

15:05 情報教育関係 施設設備見学(情報教室 他)

案内 兵庫県立姫路東高等学校 教頭 田麿 幸夫 氏

ICT活用事例紹介

・普通教室 兵庫県立姫路東高等学校 教諭 小暮 喜史 氏(数学科)

・LL教室 兵庫県立姫路東高等学校 教諭 荒柴 博一 氏(情報科)

15:20 研究協議

・各校の情報科教育の内容について(情報科の考査問題を題材に)

・情報教育における各校の諸課題について

16:30 閉会

(2) 教科「情報」授業紹介

姫路市の情報教育について

【情報教育と OS の発展】

1985(昭和 60)年	姫路高校に情報教室完成 PC-9801F (5 インチ 2DD) 21 台	DISK-BASIC MS-DOS
1986(昭和 61)年	Basic、一太郎導入	Windows3.1(1991 年)
1993(平成 5)年	エアコン設置	
1994(平成 6)年	情報専任教員 (北村) 配置	
1995(平成 7)年	市立 3 校 PC42 台導入 Windows3.1 (NEC 9821Xa) ※飾磨高校と琴丘高校は教室改修して設置	Windows95(1995 年) Windows98(1998 年) Windows98SE(1999 年) WindowsME(2000 年) WindowsXP(2003 年)
2000(平成 12)年	Windows98SE (富士通セレロン 566) リプレース	WindowsVista(2007 年) Windows7(2009 年)
2006(平成 18)年	WindowsXP (富士通セレロン D667) リプレース	
2008(平成 20)年	職員用ノート PC (WindowsXP) 配布	
2011(平成 23)年	Windows7 リプレース	

【職員用ノート PC の設置】

- 2008 年 1 月 FMV セレロン 667 (WindowsXP) 職員分 59 台設置
※職員室 LAN 配線工事实施
 - 姫路市内の幼小中高すべての PC を総合教育センターで管理
 - ◇ ソフトのインストールはセンターの許可が必要 (教科書付属ソフトも)
 - 許可申請してからインストールが可能になるまでの期間が長い
 - 4 月は職員の異動があるため、その時点でソフトの削除やインストールが必要になる
 - センター試験後は判定システムを早急にインストールする必要がある
 - 行政現場と教育現場を同一レベルにする感覚がある
- 2008 年 11 月 ネットデイによる LAN 工事
- 2010 年 5 月 新しい校務支援システムへの移行
 <従来との違い>
 - ・ YouTube の閲覧ができない
 - ・ フリーメールが使えない
- 新システムの問題点
 - ◇ 著作権の改正を受けて、YouTube の視聴ができなくなった
 - 違法ではないものも見ることができない
 - ◇ 情報モラル関係の Web サイトも一部閲覧できない
 - ◇ ニュース番組を授業の中に取り入れる「時事英語」ができなくなった
 - 閲覧制限の解除を申し込めば見ることはできるが、タイムリーなニュースなど

は見ることができない

- ◇ フリーメールの制限による影響
 - 校務で使用した USB メモリを家庭で持ち帰ることにより、メモリの紛失やコンピュータウイルスへの感染などのトラブルが発生
 - USB メモリは原則持ち帰り禁止
 - トラブル防止のため、自分のメールアドレスへファイルを転送していたが、それができなくなった
 - メールの利用者が少ない
 - 職場でしかメールが利用できない
 - 携帯電話へのメール転送ができない
 - 操作が複雑で、画面が分かりづらい
 - 県立学校への異動希望者が多い（部活動に熱心な若い先生は特に）

【学校のホームページ】

- 姫路市では、幼小中高すべてのホームページを一括管理している
 - PC の操作技術が低くても、誰でも簡単に更新ができる（ブログ＝ワープロと同じ感覚）
 - ◇ 内容の充実よりも、情報の更新を早く行う目的
 - ◇ 同窓会組織などの外部リンクはない
 - ◇ 学校独自の Web サーバの設置は考慮していない

【これからの情報教育】

- 情報科担当者が他の教科も担当している学校が多い
 - 教材コンテンツの充実が求められる（県レベルのデータベースの充実）
 - ◇ 情報科以外の教科での拡充も求められる
 - 教科書会社提供データの利用（授業内容のスライドファイルなど）

【情報社会に対応できる学校】

- ホームページ → 学校の紹介、同窓会組織へのリンク
- PTA との連携 → 携帯電話へお知らせメールの配信
- 生徒への連絡（臨時休業、伝染病関係の情報収集など）
 - 携帯電話のメールや Twitter などを利用した情報収集
 - 学校独自サーバによる情報収集
- 利用ソフト
 - 成績情報管理、生徒情報管理、学校情報管理など
 - 誰が作成、運用するのか？ → 情報科 or 他教科
 - ◇ プログラミング（C#、PHP など）できる専任者の育成が必要
 - プログラミングに意欲のある教員に対する支援（大学への内地留学など）



(3) ICT 活用事例紹介

【数学科】パソコンによるグラフ表示



【情報科】書画カメラによる実物投影



(4) 研究協議

- 授業の進め方について
 - 悩んでいる単元 → 情報のデジタル化（2進数など）
 - ティームティーチングにおける苦勞
 - 実習の評価 → 観点別の実技考査
 - 効果的なソフトウェアの選択（表現力の育成など）
- 教科書の採択について
 - 付属資料（授業用スライド）の充実なども考慮
- 新学習指導要領への移行について
 - 設置科目、設置年次、履修形態（同一年次履修 or 分割履修）
- 中学校間における情報教育の内容差について
 - 年度当初による実態調査 → 操作のスキル差についてはその都度対応
 - 高校間でも内容差は見られる
- 情報モラル教育について
 - 教員向けの情報セキュリティポリシーの徹底（成績処理、生徒情報の管理など）
- 機器管理、ネットワーク管理について
 - 障害発生時の原因切り分け
 - PC教室の更新作業 → グループウェア（生徒PC画面の閲覧）の導入など
 - ◇ 休み時間におけるPC教室の開放
- 情報部会に期待する研修について
 - データベース作成、動画編集など

